

各位

株式会社 東北銀行

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」 の公表について

株式会社東北銀行（取締役頭取 村上 尚登）では、平成 29 年 6 月に「お客様本位の業務運営に関する基本方針」を公表し、お客様本位の業務運営の実践に取り組んでおります。

平成 30 年 6 月に金融庁から「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」について、お客様が金融事業者を選ぶ際に比較できる統一的な情報として比較可能な 3 つの指標（共通 KPI※）が公表されたことから、当行におきましても「共通 KPI※」を公表いたします。

今後も、お客様の最善の利益を追求し、お客様の安定的な資産形成を通じて地域社会の発展に資するための取り組みを推進してまいります。

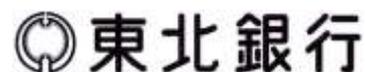
※KPI とは「Key Performance Indicator」の略称。本件共通 KPI は、お客様本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）の定着度合いを客観的に比較する為の成果指標とされています。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

資産運用コンサルティング部（担当：市丸）

電話番号：019-651-6161



〒020-0023 盛岡市内丸 3 番 1 号

電話番号 019-651-6161

F A X 019-653-1291

ホームページ <http://www.tohoku-bank.co.jp>

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」
(平成30年3月期)

平成31年3月

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について

- ◆東北銀行は、平成29年6月に「お客様本位の業務運営に関する基本方針」を定め、お客様本位の業務運営の実践に取り組んでおります。
- ◆平成30年6月に金融庁から「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について、お客様が金融事業者を選ぶ際に比較できる統一的な情報として比較可能な3つの指標（共通KPI※）が公表されたことから、当行におきましても「共通KPI ※」を公表いたします。
- ◆今後も、お客様の最善の利益を追求し、お客様の安定的な資産形成を通じて地域社会の発展に資するための取り組みを推進してまいります。

※KPIとは：Key Performance Indicatorの略で、お客様本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）の定着度合いを客観的に比較するための成果指標をいいます。

「比較可能な共通KPI」の内容

①運用損益別顧客比率

- ・基準日時点において、お客様が保有している投資信託の運用損益別にお客様の比率を示した指標です。
- ・お客様が保有している投資信託について、購入後どのくらいリターンが生じているかを見る事ができます。
- ・将来の運用損益をお約束するものではありませんので留意願います。

②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

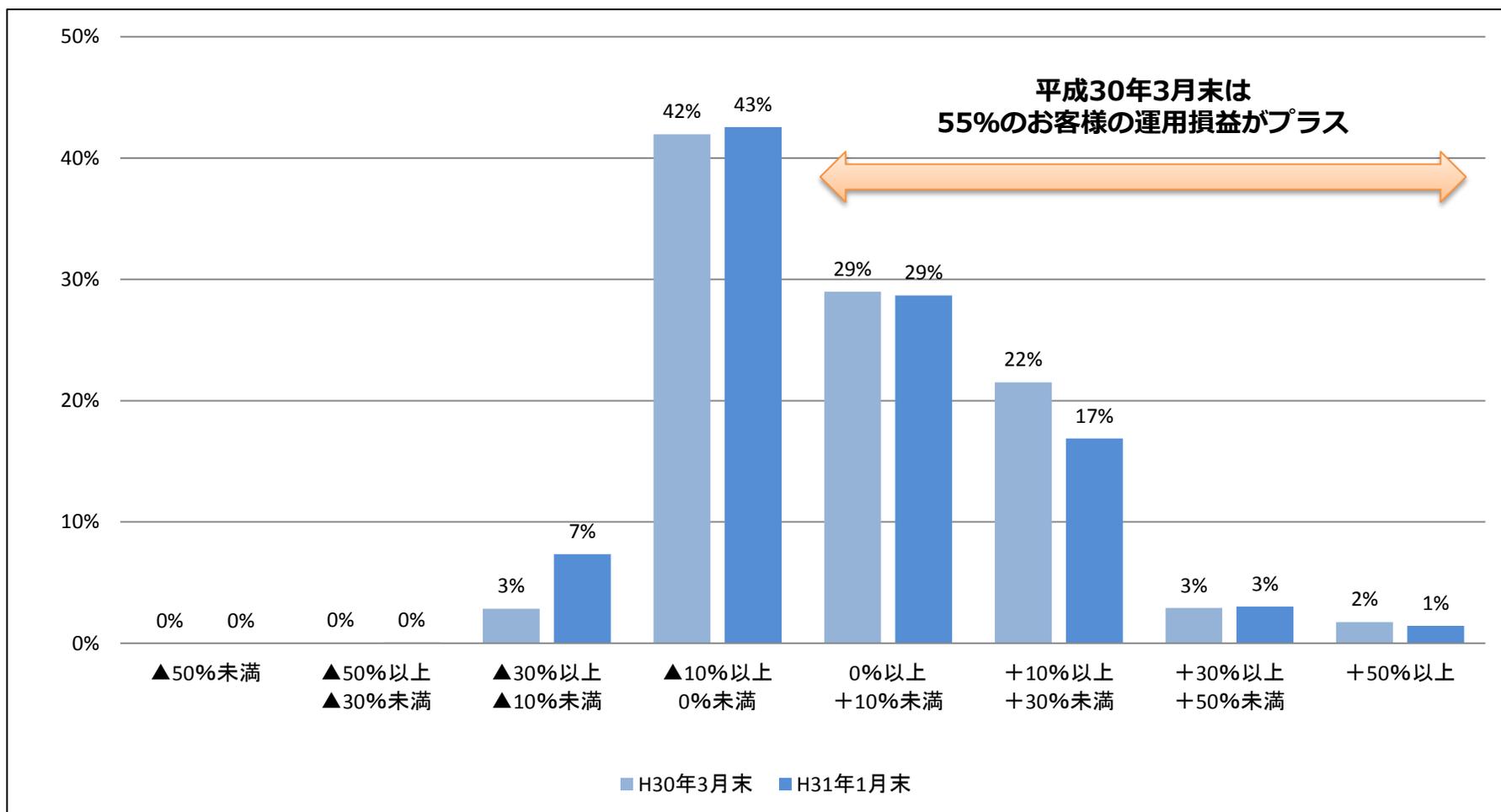
- ・設定後5年以上の投資信託の預り残高20銘柄について、銘柄毎のコストとリターンの関係を示した指標です。
- ・どのようなコスト・リターン実績を持つ商品をお客様に多く提供してきたかを見る事ができます。

③投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

- ・設定後5年以上の投資信託の預り残高20銘柄について、銘柄毎のリスクとリターンの関係を示した指標です。
- ・どのようなリスク・リターン実績を持つ商品をお客様に多く提供してきたかを見る事ができます。

◆運用損益別顧客比率(投資信託)

- ・平成30年3月末時点における投資信託の運用損益がプラスとなったお客様の比率は55%となりました。
- ・尚、平成31年1月末時点における運用損益がプラスのお客様の比率は50%となっております。



◆投資信託の預り残高上位20銘柄 (平成30年3月末時点)

コストの平均値が1.74%であるのに対して、リターン平均値が6.55%であり、上位20銘柄中18銘柄でリターンがコストを上回りました。

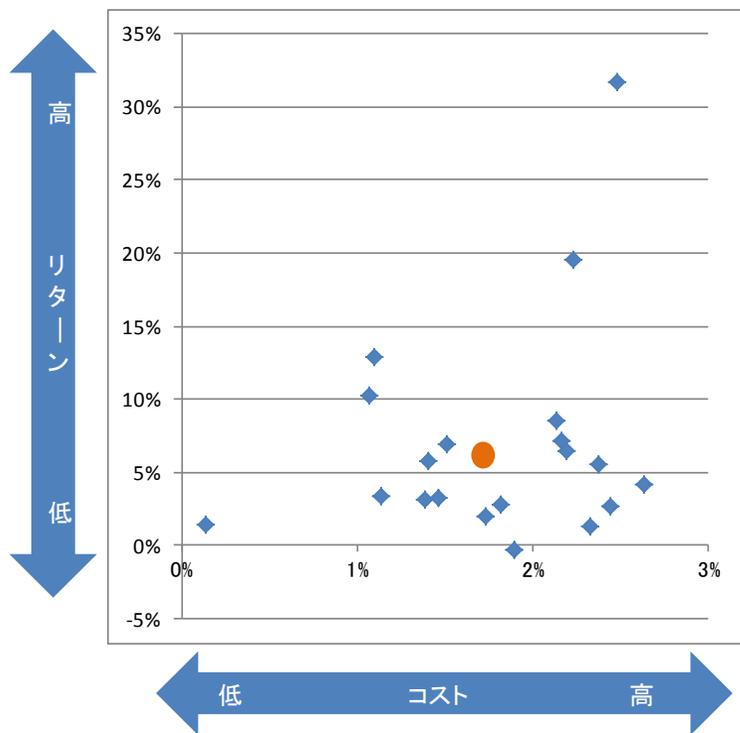
	ファンド名	リターン	コスト	リスク
1	J-REITパッケージ	3.36%	1.13%	12.98%
2	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	5.58%	2.38%	15.52%
3	新光US-REITオープン(ゼウス)	6.41%	2.19%	14.99%
4	ニッセイ健康応援ファンド	19.49%	2.23%	13.32%
5	LM・オーストラリア毎月分配型ファンド	-0.30%	1.89%	9.58%
6	LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月分配型)	2.67%	2.44%	17.03%
7	為替参照分配金変動型ファンド(業種代表企業信用リスク参照付)2013-03(デュアルスター)	1.37%	0.14%	2.90%
8	ダイワ・グローバルREIT・オープン(毎月分配型)(世界の街並み)	8.54%	2.14%	14.37%
9	LM・グローバル・プラス(毎月分配型)	6.90%	1.51%	10.07%
10	新成長株ファンド(グローイング・カバーズ)	31.71%	2.48%	14.14%
11	投資のソムリエ	1.95%	1.73%	3.26%
12	トヨタグループ株式ファンド	10.27%	1.07%	20.82%
13	株式インデックス225	12.84%	1.10%	16.05%
14	みずほUSハイイールドオープンBコース(為替ヘッジなし)	7.13%	2.16%	9.80%
15	海外国債ファンド	3.22%	1.46%	8.17%
16	MHAMトリティオープン(毎月決算型)(ファンド3兄弟)	5.73%	1.40%	7.61%
17	LM・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	1.26%	2.32%	18.49%
18	トレンド・アロケーション・オープン	3.15%	1.39%	5.34%
19	LM・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型)	4.14%	2.64%	14.16%
20	フランクリン・テンプレート米国政府証券ファンド(メイフラワー号)	2.78%	1.82%	8.80%
残高加重平均値		6.55%	1.74%	12.64%

* 2018年3月末時点で設定後5年以上の銘柄を対象

* リターン: 過去5年間のトータルリターン(年率換算) * コスト: 販売手数料÷5+信託報酬率 * リスク: 過去5年間の月次リターンの標準偏差(※)(年率換算)

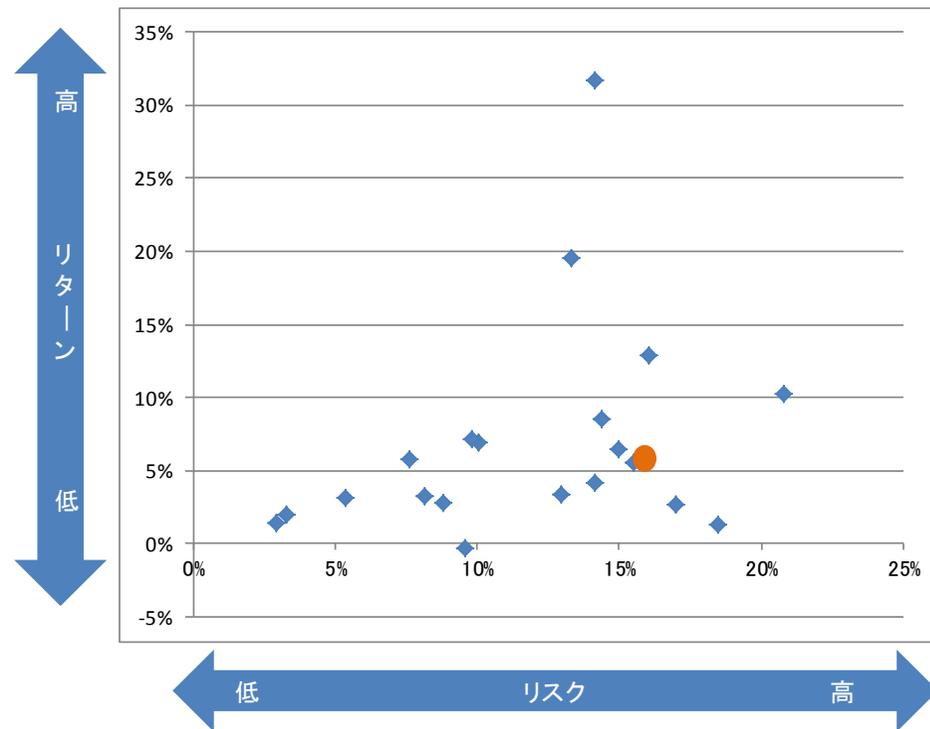
※標準偏差: リスクを数値化するもので、数値が大きいほどリスクが大きく、小さければリスクが小さいことになります。

◆投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値 (●)	コスト	リターン
	1.74%	6.55%

◆投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値 (●)	リスク	リターン
	12.64%	6.55%

* 対象銘柄: 2018年3月末時点で設定期間5年以上の預かり残高上位20銘柄

* リターン: 過去5年間のトータルリターン(年率換算)

* コスト: 販売手数料率÷5+信託報酬率

* リスク: 過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)

* 残高加重平均とは: 各銘柄残高のウェイトを加味して平均値を算出したもの。
 * 標準偏差とは: リスクを数値化するもので、数値が大きいほどリスクが大きく、小さければリスクが小さいこととなります。